

## 長浦小学校保護者説明会 会議録

1 日 時 令和6年(2024年)11月7日(木)10:00~11:30

2 場 所 長浦小学校 理科室

3 参加者 6名

4 事務局等	教育政策課 課長	飯田 達也
	教育政策課 主査	大堀 圭輔
	教育政策課 主任	志村 洸哉
	教育政策課 担当者	松本 勇人

5 議事内容

### ○飯田教育政策課長(事務局)

定刻となりましたので長浦小学校保護者説明会を始めます。

本日は、8月8日の教育委員会での校名決定、9月18日市議会での条例改正の経過等をご報告するとともに、7月に開催した保護者説明会でのご意見を踏まえた通学の安全対策等についてご説明をします。

まず、確認をしますが、会議録作成のために、録音します。

また、会議録等はホームページにて公表します。

それでは、資料のご説明をします。

### ○大堀教育政策課主査(事務局)

それでは資料の説明をします。

資料の4ページをお開きください。

学校名決定についてです。

教育委員会では、8月8日に開催した教育委員会8月定例会及び9月18日に開催した市議会9月定例議会において、田浦小学校と長浦小学校の統合後の学校名を長浦小学校に決定しました。

学校名決定までの経緯です。

まず、学校名の募集をし、応募数が225件、候補数が43候補集まりました。

5ページをご覧ください。

その後、合同学校運営協議会で絞り込みを行っていただき、43候補から以下の表の6候補に絞っていただきました。

6ページをご覧ください。

その後、8月8日に開催した教育委員会定例会において、統合後の学校名を決定する議案を提出しました。

6候補全て提出したという形です。

学校名の候補が1つではなく6候補であることから議決に当たっては、過半数を得るまでの投票を行うこととし、投票の結果、長浦が3票、按針が2票となりました。

長浦が過半数を得たため、学校名案として長浦を選定し、教育委員の採決の結果、総員一致により長浦に決定したという経緯です。

その後、市議会9月定例議会において、統合後の学校名を長浦小学校とする市立学校設置条例の改正議案を提出し、9月18日の本会議において議決されたという経緯です。

7ページをご覧ください。

教育委員会定例会における学校名の決定理由についてです。

8月8日の教育委員会定例会では学校名が6候補となることから、教育委員による投票によって決定しています。

教育委員には、令和4年5月から田浦地域における教育環境整備の検討状況をさまざまな場面で報告しています。

学校名の決定に関しては、提出した議案及び説明資料に加え、これまでの報告等を踏まえ、各委員が総合的に判断し投票した結果、学校名が決定しました。

長い歴史の中で地元に着していることから、学校名を残した方が良いという意見と、統合に関して、元の学校名ではなく新しい学校名にした方が良いという意見があった中で、長浦に3票、按針に2票という投票結果になりました。

この投票は前述のとおり、教育委員がこれまでの経過及び当日の資料を基に総合的に判断した結果であり、全ての意見を尊重した上での苦渋の決断であったと考えているところです。

学校名の決定についての説明は以上です。

次に通学の安全対策についての説明です。

10ページをお開きください。

これまでどおりの部分と変更があった部分がありますので、全体的に説明をしたいと思えます。

安全対策の概要について、1として、京急バスの通学定期券代の全額助成をします。

助成対象者は現田浦小学校区の全児童、1、2年生及び特別支援学級の保護者のうち、付き添いが必要な方です。

助成期間は統合後12年間、令和7年度から令和18年度になり、市内でも既に通学路が遠距離となっている地域もあることから、今後、全市的な遠距離通学に対する方策を検討していきます。

12年間の助成期間終了後はこちらの方策を適用する予定です。

2として停留所における児童の見守りを配置します。

3のバス車内等における対策としては、全児童に防犯ブザーを配布します。

11ページをご覧ください。

路線バスを利用する理由については、京急バスの実績、安全安心の担保、今後も安定的で持続可能な仕組みとしているため、公共交通機関である京急バスを活用するという考え方です。

12ページをお開きください。

前回の保護者説明会、合同学校運営協議会においてご意見、ご要望をいただいていますので、主な対応についてまとめたものです。

登校シミュレーションについて、登校班の人数の割り振りを想定した形にしました。  
また、見守り人数を増員しました。

下校の停留所は、田ノ浦のみを使用することとします。

池ノ谷戸停留所付近について、自衛隊と調整した結果、自衛隊入口前の歩道も待機場所として使用することの了承を得ました。

自衛隊病院建替工事に伴い、車両出入口に警備員が配置されることを確認しました。

京急バスと調整し、登校時の増発2便については、ご要望どおり JR 田浦駅のロータリーにバスが乗り入れていただけることとなりました。

警察と調整し、国道16号から安針塚駅までの道路の現地調査と対応を検討いただけることとなりました。

15 ページをお開きください。

登校時の対応です。

前回から変更があった部分だけを申し上げます。

2つ目の黒丸で、増便分を含めて、池ノ谷戸停留所着が7時20分から10分ごとに、4本のバスが登校に利用できると思われませんが、登校班の実施状況も踏まえ、増便2本をメインに登校する想定とします。

登校班は、遅刻・欠席を把握せず、時間になったら停留所に向かうことを想定しています。

16 ページをお開きください。

田浦小学校からご提案いただいた、登校班で利用するバスの想定をしています。

4本のバスが登校に利用できると思われませんが、増便分の2本に振り分けています。

人数については、現在の1年生から5年生で作成しているため、この人数に新1年生の10数名が加わる想定です。

資料の上の表が登校班の振り分けで、地域ごとに登校班が振り分けられています。

下の表が乗車するバスの振り分けの表です。

17 ページについてです。

バスの増便等の状況で、これまでと変わりません。

池ノ谷戸では7時30分と7時40分が増減されます。

18 ページです。

池ノ谷戸停留所の乗車時の状況です。

見守りの人を2人配置します。

また、待機状況によって自衛隊の入口付近の歩道も使用を想定しています。

航空写真の上の方にある自衛隊の入口に並ぶところに歩道がありますので、こちらにも並べるよう、自衛隊の了承を得ています。

人数によって下の部分で並び、並びきれないときは自衛隊入口の前に並ぶということです。

19 ページは登校班の振り分け表です。

7時30分発のバスについては、3班の13人、7時40分発のバスについては1、2班の17人、計30人が池ノ谷戸で乗車します。

増便分のバスは北部共済病院から出発し、汐入駅までの区間を運行するバスです。

20 ページをお開きください。

田浦郵便局停留所の乗車時の状況です。

こちらにも見守りを2人配置します。

前回の資料において傘を差した場合の計算が間違っておりましたので、改めて試算しています。

想定したような形で並べば60人程度が待機できると考えています。

前回、近隣の歯科にもお声掛けいただきたいと話がありましたが、敷地の状況を見ると奥まっており、通路に装飾等もあります。

目が行き届かないことや装飾の破損といった心配等もありますので、現時点ではお声がけしていません。

21 ページについては、田浦郵便局の振り分け表です。

7時30分発については6、7班の21人、7時42分については4、5班の18人、計39人が乗車する想定をしています。

22 ページをお開きください。

当初想定していなかったJR田浦駅のロータリーの中の停留所です。

ご要望として、国道沿いの停留所は狭くて危険だということで、JR田浦駅のロータリーを使えないかというご要望をいただいております。

京急バスと調整の結果、路線バスを乗り入れていただけるというお話をいただきましたので、増便分2本のみについては乗り入れていただきます。

ただ、どこに停車するかというのはまだ調整中ですので、現時点での停留所がこのような配置になっているという写真です。

また、乗り入れる場合バスのダイヤも若干変更になりますので、京急バスと調整しているところです。

23 ページは、田浦駅停留所の班分けの表です。

増便分の7時34分発のバスについては9、10班の14人、7時44分発については8班の9人、計23人が乗車します。

これにより増便分①については合計48人、増便分②については合計44人となります。

こちらに新1年生の10人程度を加えるという想定です。

24 ページをお開きください。

当初想定していた国道沿いのJR田浦駅停留所です。

ご意見として、歩道が狭く危険だということがあり、ロータリーに乗り入れることになりましたので、こちらは使用しない考えです。

25 ページをお開きください。

田ノ浦停留所における登校時の降車についてです。

こちらについても見守りの方を2人配置し、安全に降車できるような形にしたいと思います。

26 ページです。

停留所を降りてから歩道橋を渡って学校に向かっていただく道です。

27 ページをお開きください。

説明会等で、停留所から学校までの子ども110番の家の配置状況を教えてほしいといったご要望がありましたので、学校からいただいた資料に基づいて掲載しています。

30 ページをお開きください。

下校シミュレーションの想定です。

変更があった部分としては、一番下の黒丸のとおり、下校に使用する停留所は田ノ浦のみとしています。

学年で下校時間が異なり分散されることと、月曜日等で全学年5校時に下校の際は、掃除の有無で分散させることを予定しています。

また、学童クラブや放課後子ども教室を利用する児童もいるため、更なる分散も想定されます。

31 ページをご覧ください。

京急バスが学校の日課に合わせて、5校時と6校時の終了時に2便ずつ、最大4便の増便を想定しています。

現時点でこれまで示している時間と変更はありません。

田ノ浦停留所で14時52分、15時2分、15時52分、16時2分が増便分という設定です。

32 ページをお開きください。

現在学校でご検討いただいている、令和7年度の日課の案です。

下校時間の分散方法として日課や掃除を分けていただくことで分散を考えています。

14時20分が5校時で掃除なし、オレンジの部分です。

14時35分が5校時で掃除あり、青の部分です。

15時10分が6校時で掃除なし、黄色の部分です。

15時25分が6校時で掃除あり、緑の部分です。

それぞれ時間を分散しています。

33 ページの表が、この日課に基づき、どの時間のバスに乗るのかという表です。

月曜日、掃除なしで14時20分に終わる方は、14時42分と14時52分のバスが対象です。

掃除ありで14時35分に終わる方は、14時52分と15時2分が対象、といった見方をします。

火曜日と木曜日、黄色の部分が15時10分に終わりますが、対象となるバスが15時42分と15時52分になり、少し時間が空いてしまうという状況も現時点ではあります。

これは、京急バスから増便分としていただいている時間と学校の日課の案を並べたときにこのような状況が発生しているということです。今後、学校の日課調整及び京急バスの時間設定の調整により、ちょうど良い時間に調整したいと考えています。

あくまで現時点で並べた表であるということをご了承いただければと思います。

34 ページは、下校時の田ノ浦停留所です。

特に資料の変更はなく、見守りを2名配置したいと考えています。

通学の安全対策については以上です。

続いて、38 ページです。

港が丘1丁目と田浦町6丁目については船越小学校にも通えるように指定変更承認地域として設定します。

通学開始については令和7年4月から、手続きの開始については令和6年12月からを予定しています。

こちらについては新1年生に対しても周知が必要と考えていますので、11月9日に田浦小学校区の未就学児保護者向けの説明会を開催したいと考えており、そちらで周知したいと思います。

39 ページは指定変更承認地域設定の区域です。

42 ページ以降は、説明会や合同学校運営協議会でいただいたご意見、ご要望についての回答です。

問1、停留所の地面に色を付けるなど、並びやすい工夫をしてほしい。

また、停留所付近の柵をしっかりとらせてほしい。

というご意見です。

停留所の地面への色や表示の設置可否については、国道事務所と調整中です。

また、柵については、現時点で基準を満たしているため、更なる対策は困難であると国道事務所に確認しています。

問2、田浦郵便局の停留所の待機には、近隣の事業所等にも協力を得てほしい。

というご意見です。

調整の結果、田浦郵便局と田浦教会に、バス待機時の敷地内利用の協力を得られることとなっています。

歯科については先ほど申し上げたように、現在保留しています。

43 ページです。

問3、池ノ谷戸停留所付近は、自衛隊病院建替工事に伴う大型車両が心配。

また、自衛隊等の自転車が通るので危険である。

というご意見です。

自衛隊病院建替工事に伴い、車両出入口に警備員が配置されることを確認しました。

また、自転車での通勤・通学については、自衛隊員は歩道を走らないように周知しているとのことですが、児童が停留所に待機していることも含めて、改めて周知していただけることとなりました。

問4、池ノ谷戸の歩道後ろの側溝に蓋をして待機場所を作れないか。

又は、自衛隊の入り口付近の歩道を使わせてもらえないか。

というご意見です。

先ほどのご説明のとおり、自衛隊との調整の結果、自衛隊入口前の歩道も待機場所として使用することの了承を得ました。

側溝の蓋は、大規模な工事となるため実現は困難と考えます。

44 ページです。

問5、停留所付近で体調不良やトイレの対応で、池ノ谷戸停留所では花森さん、田浦郵便局停留所では社会館と話し、ご協力を前向きにご検討いただいている。

田ノ浦停留所では、東長浦自治会館を活用できれば。

細かいルールも必要である。

というご意見です。

停留所付近の事業所や施設は学校において調整を進めています。

問6、田浦駅は国道沿いではなく、ロータリーの停留所を利用した方が安全である。

というご意見です。

京急バスと調整の結果、登校時の増発2便については、J R 田浦駅のロータリーの停留所に乗り入れていただけることとなりました。

45 ページです。

問7、田ノ浦の停留所から歩道橋で別の道に行かないよう、そこにも見守りを配置してほ

しい。

というご意見です。

通学路の指導の中で、通学路以外の道に行かないように指導をしていきます。

見守りの配置については、新たに発生するバスの通学に係わる、停留所付近のみの配置を予定しています。

問 8、上りの田ノ浦停留所前にコンビニができる予定と聞いている。

車の侵入口の場所によっては、対策を検討する必要があるのではないか。

というご意見です。

現時点では建築計画の状況が不明なため、状況を注視しつつ必要な対策を検討します。

46 ページです。

問 9、停留所の見守りだけでなく、小学校から停留所まで、せめて1年生は見守ってほしい。

というご意見です。

通学路の指導の中で、通学路以外の道に行かないように指導をしていきます。

見守りの配置については、新たに発生するバス通学に係わる停留所付近のみの配置を予定しています。

問 10、バス通学が基本ですが、歩いて下校することを想定して注意事項など、ソフト面の対策を検討してほしい。

というご意見です。

通学路の指導や、安全マップを活用するなどが考えられますので、学校と調整します。

47 ページです。

問 11、見守りの手配について、具体的なことが決まるのはいつなのか、どこまで確保できるのかといったことを示してほしい。

というご意見です。

事務手続き上、見守り事業者との契約は令和7年4月1日となりますが、令和7年4月から滞りなく開始ができるよう、今年度中に手配していきます。

問 12、停留所の見守りの人数が少ないので増やしてほしい。

というご意見です。

基本的には、各停留所2人ずつ配置するように増員します。

問 13、停留所の見守りは警備会社に委託し、警備員としてほしい。

というご意見です。

交差点等で車両の停止や誘導をする際には、警備員とする必要があります。

しかし、停留所の見守りは、停留所付近の児童を整列させる等の適正利用の指導であるため、警備員ではない人材が停留所の見守りをする予定です。

なお、現時点ではシルバー人材センターへの委託を考えています。

48 ページです。

問 14、見守りについて、緊急時の対応に不安がある。

というご意見です。

受託事業者とマニュアル等を作成し緊急対応していきます。

問 15、停留所の見守りは、子どもの顔が分かる大人の配置が必要と思う。

地域や保護者の輪番という形はとれないか。

というご意見です。

輪番の実施可否については、地域や保護者の皆さままでご検討をお願いします。

子どもの顔が分かる大人の配置ということですが、シルバー人材センターの仕組みとしては、地域の方が会員として登録し、その会員が請け負った仕事を行うという形です。

そのような形であれば、この辺りの地域の方々に子どもの顔が分かる大人の方を配置することもできると考えています。

49 ページです。

問 16、見守りの人に、バス内まで乗車が可能か検討いただきたい。

というご意見です。

登校時に利用を想定しているバスのうち、最後の便は増発ではない既存の便になる想定であり、こちらには見守りが乗車できないかと考えていますので、実施の可否について検討します。

問 17、バスの中には大人が必要だと思う。全てのバスに付き添いができないか。

というご意見です。

有償ボランティアである教育支援臨時介助員が活用できると考えています。

人材については、現在既に田浦小学校や長浦小学校の教育支援臨時介助員をされている方などに、学校から声掛けしていただく形です。

児童の実態を踏まえ、学校と相談し検討します。

50 ページです。

問 18、バス車内の対策として、京急バスに「防犯カメラ監視中」といった掲示をするなど、犯罪抑止になるような対策の検討をお願いしたい。

というご意見です。

京急バスに要望として依頼します。

問 19、バスの乗り過ごし防止のため、バス運転手に車内放送を手厚くしてもらえないか。

というご意見です。

京急バスには、児童が通学にバスを利用することを伝えてあり、ご配慮いただける旨、回答をいただいています。

51 ページです。

問 20、登校時に吉倉の停留所を使うことも検討してほしい。

吉倉から歩いてしまう児童もいると思う。

吉倉の交番に協力してもらい、警察に立っていてほしい。

というご意見です。

登校時の吉倉停留所は、国道の横断を含めて道路の横断が3回あることや、通学路の安全性の観点から、使用しないこととします。

問 21、田浦の谷戸の奥から出てくる児童もいるため、登校班ができないか。

というご意見です。

登校班の実施を想定し、学校で検討しています。

52 ページです。

問 22、トンネル内は狭い、車との狭間が低い、漏水があるところは泥が溜まって歩きにくい。

地域で清掃日を作って、国道の清掃を地域がすることは可能か。



というご意見です。

漏水箇所の確認をしましたが、歩行が困難なほどの状況は見受けられませんでした。

掃除については、定期的に地域で行っていると伺っています。

問 23、トンネル内の自転車の通行に対する対策をとっていただきたい。

看板が出入口に設置されているとのことだが、ソフト面での対策も検討いただきたい。

というご意見です。

トンネルの出入り口には既に、自転車は降りて通行する旨の表示がされています。

ソフト面での対策は交通安全対策の所管部署で、自転車マナーアップ月間等の取り組みを実施しています。

その他、警察や交通安全協会とも対策を検討します。

53 ページです。

問 24、国道 16 号から、安針塚まで車が多いので警察に交渉してほしい。

というご意見です。

警察へ車の通り抜けについて相談に行きました。

今年中に警察が 2 回程度現地調査を行い、対応を検討いただける状況になっています。

その他に、市において、国道 16 号から安針塚駅に入る道路に、注意喚起の道路表示を行う予定です。

問 25、以前、他地域で登下校時に、児童が登下校する旨のアナウンスが流れ、それを聞いて地域の見守りが参集していた。

そのようなアナウンスが流せないか。

というご意見です。

防災行政無線を使用してのアナウンスで、日常的に放送を流すと混乱を招くこと、下校時間が毎日違う状況であること等を勘案すると、実施は困難だと思われます。

54 ページです。

問 26、安全確保等、統合後薄れないよう継続的な取り組みをお願いしたい。

というご意見です。

毎年、通学路の安全点検を行っているため、継続して安全確保に努めていきます。

55 ページは指定変更承認地域関係です。

問 1、指定変更承認地域の範囲外の子も、友人関係で変更可能に制度を拡大してほしい。

というご意見です。

今回の指定変更承認地域については、児童の通学距離や地域活動への影響を考慮し、最小限の範囲で設定しています。

「友人関係」を理由とした指定変更については、承認地域の設定主旨や、「友人関係」の判断基準が難しいこともあり、指定変更承認理由として設定することはできかねます。

なお、特別な事情があり長浦小学校に通学できないということであれば、支援教育課にご相談ください。

56 ページはその他です。

問 1、新 1 年生向けにも説明会を行ってほしい。

というご意見です。

新 1 年生に向けての説明会は、11 月 9 日に開催を予定しています。

また、例年 2 月に開催している新入生就学説明会においても説明します。

資料の説明は以上です。

○飯田教育政策課長（事務局）

ただいまの説明についてご質問等があればお願いします。

○参加者

問 20 についてです。

登校時は時間差で子どもたちが分散されるので、田ノ浦停留所だけでも運用できると思いますが、下校時では、給食がない日などでは田浦方面から来る子ども全員が田ノ浦停留所に待機することになりとても危ないのではないかと思います。

一斉下校のときなど、下校時に吉倉停留所も使えるようにする方が安全なのではないかと思いますが、検討いただけますか。

○大堀教育政策課主査（事務局）

事務局としては、元々両方で分散する想定でした。

保護者説明会や合同学校運営協議会において、吉倉は脇道から車が出てくる、吉倉の方に下りる坂道が暗く人通りが少ない、といったご意見があり、そういったご意見を反映して吉倉は使わないという考えです。

確かに田ノ浦 1 か所に集中してしまうというご懸念がありますので、先ほど申し上げたように授業の日課や掃除の有無によって分散をさせていただければと考えています。

また、学童クラブや、新年度から開設予定の放課後子ども教室を活用していただくことで分散されると考えています。

○参加者

給食がない日など、子どもたちの分散が難しいときはどうするのか疑問です。

通常の登下校の時間は増便してくれるということですが、新学期が始まったばかりの日間は給食がないと思います。

お昼頃はおそらく 30 分に 1 本程度しかバスがない状態ですが、それはどのように分散するのか心配です。

○小谷長浦小学校長

午前日程で帰るときについては、あらかじめ教育委員会と連携し、その下校時間の増便を出していただくような形で検討しています。

まだ時間の設定まではしていませんが、短い間隔の中で 2 便程度を出してもらいたいことを検討しており、なるべく一斉にみんなが帰れるような体制を組みたいと考えています。

吉倉の停留所については、可能性が全くないということではなく、まずは田ノ浦のみでスタートしてみて必要であれば検討はしていきます。

バス定期券の金額は変わらないですね。

○大堀教育政策課主査（事務局）

児童は変わりません。

保護者は料金区間が変わってしまうと定期券の金額も変わります。

○小谷長浦小学校長

検討の枠は広げていきたいと思いますが、吉倉停留所は狭いので要検討というところ  
です。

交流の中でも吉倉を使っている学年と田ノ浦を使っている学年と分けて、いろいろシ  
ミュレーションしているところです。

○飯田教育政策課長（事務局）

全体的に今説明しているは、あくまで現状のカリキュラムの中で朝2便、帰り4便の増便  
をいただけるというところです。

これは京急バスのご協力の基やっていただきますので、学校がやっていない夏休みや日  
曜日などについては、この増便分は基本的に走らせないような形です。

ご質問いただいた、一連のカリキュラムの中である程度一斉に帰る時期が分かっている  
日については、朝2便、帰り4便以外の増便を半年程度の期間で調整しながら、できる限り  
お子さんが支障なく通学できるような体制をとっていきたいと思います。

○参加者

新1年生の田浦からの予定人数が13人とありましたが、全体で1クラス何人程度になる  
予定でしょうか。

○小谷長浦小学校長

想定としては、1年生は30人前後です。

承認地域の子が30人から減るイメージですが、吉倉の子が何人程度来るか分からないの  
で、30人前後です。

あとの学年は、新3年と新5年が2クラスになる予定で、それぞれ20人前後のクラス、  
2年、4年、6年は30人から35人程度になるかと思っています。

2クラスになる学年が多くて3学年程度だと思います。

35人前後で1クラスになるか2クラスになるか分からない学年もあり、今の6年生を見  
ると30人でパンパンですが、教室がいっぱいになる可能性もあります。

○参加者

田浦からバスに乗って登校するだけでストレスになると思います。

更に教室の中の人数が多いと担任の先生が1人で、待ち時間も増えたりして負担になる  
のではないかと思います。

慣れるまで、せめて最初の1年間程度はできるだけ少人数のクラス編成をお願いしたい  
と思います。

できれば全学年少人数をお願いしたいと思います。

難しいのであれば、せめて1年生、低学年だけでも少人数をお願いしたいです。

### ○小谷長浦小学校長

先ほど言った人数でいうと、30人のクラスでは半分に分けると15人です。

先生の人数にも限りがあるというのと、15人からまた30人に戻すタイミングが難しいということもあります。

長い見通しを持って、この人数でどうするか、2クラスに分ける場合はどのような対応の中で分けていくかという学校の運用を考えながら、優先順位をつけていきたいと思います。

多少の加配をいただく可能性もあるので、田浦の先生たちと、子どもたちにとって何が一番良いかということを考えていきたいと思います。

また、長距離通学になることも含めて、今の時間割よりも多少カットできる場所もあると思います。

例えば、水曜日は1年生が5時間になっていますが、1年生は4時間に、2年生も6時間が入っていますが6時間はなくし、3年生から6時間を導入する、というような時間数の見直しも田浦の先生たちと検討しています。

想定しているよりも週の時間数が少なめで教育課程がクリアできそうなので、少し緩めながら子どもたちの登下校の負担を考えていきたいと考えているのでご承知おきください。

人間関係をどのように作っていくかということも、その子たちが卒業するまでの見通しを持ちながら人数編成していこうと思いますので、いただいたご意見も参考に田浦の先生たちと相談したいと思います。

まだ人数の見通しがないので、今後田浦の先生と打ち合わせをしながら検討したいと思います。

### ○参加者

少人数制にすると先生の負担も減るのではないかと思いますのでよろしくお願いします。

次に、問22のトンネル内の清掃についてです。

歩道も少し泥で滑りやすく危ないと思うところがありますが、16号のトンネルを運転していて車からみるとゴミが多いです。

何か月も放置してあるゴミがたくさんあって、もしかしたら何か危険なものもあるかもしれないと気になっています。

一個人がボランティアでどうにかできるようなものではなくて、業者を雇っていただいたりしてきれいにしないとどうにもならないと思います。

今回学校が統合されて、その道が正式なルートになるということもあるので、可能であれば2か月から3か月に1回程度トンネルの中を掃除していただけたら良いと思います。

### ○大堀教育政策課主査（事務局）

16号のトンネルは国道であり所管が国道事務所、国土交通省になってしまいます。

いろいろとご要望をいただいた中で、既に国道事務所と調整していることもありますので、要望としてはお伝えしたいと思います。

○志村教育政策課主任（事務局）

ゴミについてですが、場所は車道側ですか、歩道側ですか。  
両方含めてのことをおっしゃっていますか。

○参加者

車道側です。

○参加者

車道は分かりませんが、歩道については月に1回程度、地域のボランティアの方が掃除してくれています。

5丁目から安針塚の方に向かっては清掃してくださっていますが、田浦の方は不明なので地域の方に聞いて確認します。

○参加者

バスに乗って子どもたちが登下校するときに見る景色として、ゴミだらけのトンネルを見せながら登下校させるのもどうかと思いますので、ぜひお願いします。

○参加者

子どもたちが登校するだけでも大変だと思い、先生方も大変だと思います。

今までだと、8時より前には学校に来ないでほしいと言われていたと思いますが、バスで登校することによって、一番早いバスは7時台に学校に着くと思います。

先生方は対応してくださるということで大変ありがたいことですが、PTAからすると、働き方改革で先生たちの就業時間も守るために電話は何時まではしないほしい、といったことをいろいろと聞いていますので、先生たちの負担が増えることに対して心配です。

先生や子どもの負担が大きくなるということを、学校に関わっていない人にも知ってほしいです。

大人目線でいろいろなことが決まっていると思いますが、実際に生活が変わっていくのは子どもと先生だと思うので、ご配慮いただきたいと思います。

何がどうなるという細かいことは積み重ねだと思います。

1年生の子が初めてお母さんたちから離れて、バスに乗って登校するというのは大変なことだと思いますし、高学年の子は登校班の班長として低学年の子を見るように言われるストレスもすごく大きいと思います。

6年生頑張って、と言われただけでお腹が痛くなってしまいうような子もいます。

新学期になると頑張ろうという気持ちとともに、やらなければならないというプレッシャーで体調を崩すような子もいるので、そのような部分を大人に理解してほしいという思いがあります。

バスに乗るといろいろな人が乗っていて、子どもに対して温かい目で見てくださいる方だけではないと思います。

朝のバスに乗っている方というのは通勤している方など、少しでも遅れるのが嫌でイライラしている方も多いと思います。

子どもは、傘を閉じたりおしゃべりして動くのが遅くなったりして、イライラする部

分もあると思います。

そういった部分でも子どもたちにストレスがかかるということを、世の中の人みんなに理解してほしいと思います。

#### ○飯田教育政策課長（事務局）

職員配置については、現行の小学校の先生については県費の職員で、統合に合わせて加配をいただけるのではないかと話を聞いています。

また、市としても職員の配置をできる限り学校と相談しながら配置していければと考えています。

お子さんについては、通学の環境が変わるというところで特に田浦小学校の校長先生も心配されています。

まずは今月の20日に、社会館にご協力いただいてバスの乗車を練習する予定です。

また、年が明けて近くなってきたときには、より具体的な乗車訓練などをやっていきながら、それで全てのストレスがなくなるかと言われればそうではありませんが、できる限りストレスの軽減というものに努めていきたいと思います。

#### ○小谷長浦小学校長

登校のバスについては、最初は乗り込むのに時間がかかるかもしれないので、なるべく増便分に乗ってもらいたいと思います。

一般の人も乗れるバスだとは聞いていますが、通学のための増便分であることや子どもたちの乗り込み等に時間がかかることを伝える表示などを学校で作成して掲げさせてもえればと思い、京急バスと相談してもらいたいです。

増便分に乗り切れれば一般のバスの方たちにご迷惑をかけないと思っています。

朝の時刻表を見ると1分刻みでバス停に到着するようになっていますが、乗り込みだけで1分以上かかるとしており、増便分が田ノ浦に着くのが7時30分になっていますが、到着は少し遅れるのではないかと思います。

そこから歩いて来れば、学校には8時頃に着くという想定ですので、学校を開ける時間は早めなくて大丈夫だと思っています。

増便分だけでも何か表示させていただければ、一般の人たちの感情も収めてもらえるのではないかと思います。

そのようなものを学校で作って良いのであれば作ります、いかがでしょうか。

#### ○大堀教育政策課主査（事務局）

京急バスに確認します。

#### ○参加者

無理を承知で発言したいと思います。

焼き鳥のよっちゃんがあった場所が、ちょうど更地になって建物がない状態です。

そのエリアの一部を市が使えるように配慮していただけて、屋根やベンチを設置できたら良いと思います。

○大堀教育政策課主査（事務局）

ご意見としてお伺いし、新しく建つ建物の状況によって配慮することがあれば対応したいと思います。

○参加者

田浦の子たちが長浦小に登校するバスは、基本は登校班で来るということですか。

○大堀教育政策課主査（事務局）

そのとおりです。

○参加者

降車時は、各便で大体 50 人ずつになります。

うちは国道沿いのところから歩いて学校へ行っていますが、国道から安針塚への道は、車道に降りないとすれ違えない道や、歩くのが遅い子がいるとそれを抜くために車道に出ざるを得ないような状況です。

50 人増えると、車道にはみ出してしまうことが多いと思います

45 分から 50 分の時間だと、飛ばして入ってくる車もいて危ないという話をしていました。

そういったことを警察の方とやり取りしていただきたいです。

○大堀教育政策課主査（事務局）

国道 16 号から安針塚に入る道については、これまでも大型車両が通って危ないといったご意見やご懸念をいただいています。

既に警察に対応を検討していただいているところです。

一度見ていただき、大型車両は通っていなかったという結果だったということですが、もう一度今年中に見ていただくようお願いしており、対応を検討していただいています。

通学路としては整備されている方だと思いますが、それでは足りないということですので、市において安針塚に入る入口のところの道路に注意喚起の表示をしたいと思います。

○参加者

大型車両というよりは、普通車がスピードを出して登ってきます

毎日子どもと一緒に通学していますが、入ってきて直進になるところではほとんど毎日その車がきて危ないので、定期的に取り締まっていきたいといったこともしてもらえると助かります。

1 回や 2 回見ただけでは分からないことだと思うので、そのようなこともあるということ警察とも相談していただければと思います。

○大堀教育政策課主査（事務局）

ご要望としてお伝えしたいと思います。

今後も警察とは連絡をとりますので、大型車両だけでないという話はお伝えします。

また、市で道路標示などの注意喚起をして対応したいと思います。

○参加者

大型車両は夕方の下校時間が多く、朝は通勤の方がかなりのスピードで飛ばします。

地域の見守り隊を地域の方とやっております、大型車両の話は5、6年前から警察と話合っています。

大型車両を時間で区切って出入りできないようにしてください、という話もお話していますが変わらない状況で、所長が変わる度に話を知らないということもありましたので、この機会に強いご意見を通していただければ変わるのではないかと思います。

○参加者

1台もいなかったというのは、何曜日の何時頃に調査したのか分かりますか。

○大堀教育政策課主査（事務局）

曜日は確認していませんが、平日の朝、登校の時間に私服で見ていただいたという話です。

○参加者

先ほどもありましたように、夕方は大きなトラックがすごい勢いで坂を上っていくのが危ないので、私からもお願いしたいです。

また、安針塚駅前の交番はいつも人がいるわけではないので、朝の時間にいつも立ってほしいという要望をこの機会に出せるのであればお願いしたいです。

警察官が角に立っているのと立っていないのでは運転する人の気持ちも変わるのではないかと思いますので、住民としていつも立ってもらえると良いと思います。

○大堀教育政策課主査（事務局）

警察とは今後も連絡をとりますので、お伝えしたいと思います。

○参加者

長期休みに入る前、子どもたちがたくさんの荷物を持って下校します。

また、新学期にたくさんの荷物を持って登校するということがあると思います。

荷物の分散は今も、面談のときに保護者が協力して持っていくような体制をとってくださっているクラスもあるかと思いますが、そういったことを周知してもらえると良いと思います。

数年間小学校に通わせてきた親として、分かっている先生とそうではない先生がいるということを感じており、特に低学年は大変だと思うので学校で配慮してほしいです。

プールが始まればプールのカバンもあり、習字があればそれも持っていかなければならず、荷物が多いです。

基本的に習字や絵の具は置きっぱなしにしているかもしれませんが、重なって荷物が多



くなってしまうことがあると思いますし、ランドセルだけでも大変なので、配慮してほしいと思います。

#### ○小谷長浦小学校長

学校でも持ち帰りの教科書などは配慮しています。

担任も計画的に持って帰るように声をかけていますが、高学年になると大丈夫と言って自分の判断でまとめて持って帰っている子もいます。

平気です、と言いながらヨタヨタ歩いている子もいるので、再度担任にも周知するとともに、保護者にもお知らせを出してご協力いただくような形でやっていきたいと思います。

また、新入生はランドセルが大きくて厚いので、持ち物についてはランドセルという表記ではなく、肩に背負えるものという表記をし、ご家庭で選べるような説明をしようと話し合ったところですので、それぞれ工夫をしながらやっていきたいと思います。

#### ○参加者

世の中、子育てしているお母さんたちに冷たい目線があると思います。

市の広報誌などで、少子化で学校が統合したことによって、このように子どもが通学している、といったことをもう少しアピールしてもらえたら良いと思っています。

今回の統合のことについてもマスコミで話題になっていなくて、より世の中の人に関心を持ってもらえるように広報活動してもらうことはできないのかと思いますが、いかがでしょうか。

#### ○飯田教育政策課長（事務局）

どういった広報ができるかというのはこの場でお話はできませんが、これまでも統合に関しては必ず、定期的に記者へ投げ込みという形で情報提供をしています。

それを記事にするかしないかは記者の判断です。

来年4月に統合し、それをどのように広報していくかというのはまた別途検討することだと思いますので、ご意見として頂戴したいと思います。

#### ○参加者

以前よっちゃんがあった前の道から花屋を少し過ぎた辺りまでが狭い歩道です。

50人以上が行き交い子どもたちが歩くとなると車道に降りると思いますので、もし見守りを1人増やしていただけるのであれば、その辺りが見えるところに1人いれば、子どもたちが降りたときに注意していただけたと思います。

それを地域の方に頼むと、どうしても毎日は難しいという話です。

毎日は無理だとしても、週に何回か見守りの方がその辺りで子どもたちに声をかけながら立ってくれたら、田浦の方も安心するかと思います。

大きい道路の方ばかり見っていますが、そちらの曲がってきたところを歩いているお子さんが危ないと思います。

○大堀教育政策課主査（事務局）

見守りについて、教育委員会として対応する範囲は基本的に停留所の周りが原則であると考えているところです。

ただ、11月後半に地域の各団体にお集まりいただく会議があり、そこで見守りの話をしてくださるそうです。

こちらから依頼文のような形で、可能な範囲で見守りの範囲を広げていただけるようにご検討いただき、その会議で対応を検討していただく形にしたいと思います。

○小谷長浦小学校長

田ノ浦の降車時の見守りは2人いると思います。

1人はバスから降りる子どもたちを見守り、もう1人は歩道橋の下の辺りまで行って歩道橋に2列で歩くよう促すといったことは可能ですか。

○大堀教育政策課主査（事務局）

運用としては可能です。

○小谷長浦小学校長

歩道橋にちゃんと登るように言わないと、下から坂の方に行ってしまう子がいるといけ  
ないので、運用の中で位置取りについては学校と人材会社で考えられると良いと思います。

○参加者

以前にもこういった場で発言したと思いますが、子どもたちがバスを利用することによ  
って、例えば痴漢や子どもがまだ乗り降りしているのにバスが発車してしまったといった  
事故が他の地域で起こっているニュースを聞いたことがあります。

子どもたちにはそういった危険な場面もなくはないという状況にあることを市の方にも  
知っておいてほしいと思いますし、もちろん京急バスの方もそのようなことが起こらない  
ように運用してくださっているとは思いますが、保護者としてはそういった部分も非常に  
心配しているということを知っておいてほしいです。

○飯田教育政策課長（事務局）

この件についてはこういった保護者説明会だけではなく、これまで開催した地域別協議  
会の中でもご意見をいただきました。

教育委員会としても京急バスと調整する際に何度もお話をしているところです。

京急バスとしてもできる限りのことはしたいというご回答をいただいていますので、今  
回のご意見についても再度伝えていきたいと思います。

○参加者

子どもたちもちろんですし、京急バスの運用をしてくださる方ももちろんそういった  
ところに気をつけてくださっていると思いますが、市民の皆さま1人1人の気持ち、行動も  
大事だと思うので、そのようなことを周知してほしいという思いが保護者としてあります。

バスで登校しているのはこの地域だけではないと聞いていますし、この少子化の中で、よ

り温かい目で見守られながら子どもが育っていかないと、殺伐とした世の中になってしまうと感じていて、そのような面でも横須賀市から出している広報誌などで、子どもたちがどういった状況か、どのような危険が考えられるかといったことを周知してほしいと思います。

○参加者

停留所付近の見守りは、この先ずっとなくなるのでしょうか。

○大堀教育政策課主査（事務局）

見守りについては特に期間を決めておりません。

当面の間ということなので、なくなる可能性もあります。

ただ、統合したばかりですので、しばらくは行います。

数か月でなくなるということはなく、年単位で考えています。

○参加者

地域の方や周りの方で見守りに協力したいという方がいた場合に、どちらに連絡したら良いか分からないとハードルが高くなってしまいます。

そういった場合はどちらに連絡したらスムーズですか。

○大堀教育政策課主査（事務局）

停留所の見守りについてはシルバー人材センターに委託する予定です。

シルバー人材センターについては、会員登録された方が仕事に従事していただき手当が出るもので、単純なボランティアではありません。

○小谷長浦小学校長

シルバー人材センターのことも含めて、まずは学校にご連絡いただき、いろいろとご案内できればと思います。

○大堀教育政策課主査（事務局）

人材確保もかなり重要ですので、お知り合いの方や近隣の方がいたらぜひお声掛けをご協力いただければと思います、よろしくお願いします。

○参加者

この地域に約3年前に引っ越してきました。

横須賀で住む場所を探すときに、可能性のある場所の小学校に電話をかけて、子どもの人数や学級の人数を聞いて小規模校の学校を選びました。

全然知らない場所に引っ越してくるのはものすごく怖いことで、勇気を振り絞って学校に電話かけたりして、やっと慣れてきたところです。

小規模校の良さというのを残していただく形を、この先もできる限り進めていただきたいと思います。

## ○参加者

今回の統合では人数が少ないところをデメリットとして、人数を増やすために統合するという話です。

体育のときもチームが作れて良いことがあるということなどで統合になりましたが、今までの人数が少なかった長浦小学校も良かった点がたくさんありました。

先生たち1人1人が子どもたち1人1人を見て、全員の子どもの名前が言えるような先生ばかりで、長浦小学校に通学させて良かったと思っています。

少子化で学校を維持できず、統合するのは仕方ないことだと思いますし、この後も統合が進んでいくと思いますが、人数が少ない学校は子どもたちがかわいそうだからという理由で統合が決まったような感じがあったので、本当に子どもたちがかわいそうなのかどうかは考えてほしいです。

田浦の人たちも、人数が増えることよりも自分たちが住んでいるところに学校があってほしい、徒歩で通える学校に通わせたかったというのもあるでしょうし、学校が近いからということで移り住んだ方もいたと思います。

今更言っても仕方ないことですが、こういった意見を市の方に直接言える場面は今なので言います。

今後こういった話が市の中で進み、それは国レベルで進んでいることだとは思いますが、子どもたちが1人1人見てもらえるというのは子どもたちにとっても良いことだったと思うので、それだけは最後に保護者として強く思ったことを伝えます。

また、議事録にも残ると思うのであわせて言わせていただきたいと思います。

PTAをやっていると、何でもボランティアでやらされることをすごく感じますが、今回の見守りはシルバー人材センターの方をお願いするということで、お金が出るということです。

そこはすごく大事だと思っていて、お年寄りの方も自分の生きがいとしてその仕事が出てきて、子どもたちと接することができます。

子どもとお年寄りがどのようにともに生きてくかというのは課題になると思いますが、ぜひお年寄りの方にも働いた分はお支払いするという形を継続してほしいです。

数年後には見守りがなくなるかもしれないということでしたが、そういった点からも、1日数時間だけでも子どもたちと関わるということは良いことだと思いますし、お金が出ることで継続できると思い、無料のボランティアでは絶対に続かないと思うので、ぜひ続けてほしいです。

今後も統合に当たってそういった人員が必要になったときには、シルバー人材センターなど、仕事に見合った給料を払っていただきたいと思います。

## ○飯田教育政策課長（事務局）

それでは、説明会を終了します。

何かあれば学校を通してでも結構ですし、メール等でご連絡をいただければと思います。

ありがとうございました。